



志木中だより

8月号 令和元年 8月29日

【学校教育目標】

- ・考える人
- ・思いやりのある人
- ・たくましい人

志木市立志木中学校 志木市柏町3丁目2番2号
TEL 048 (471) 0143 FAX 048 (474) 6592
URL <http://www.shikichu.ed.jp/>

校長 小林良昭

『自己実現への一歩・・・』

未だ未だ残暑が厳しい毎日が続いていますが、今日からいよいよ二学期が始まります。

今学期は行事が多くある学期ですが、学習でも力が入る季節にもなってきます。体育祭や合唱祭等は生徒たちのみならず、保護者の皆様をはじめ多くの人たちに感動を与え、そして思い出に残る行事となります。今学期も生徒たちは、さまざまな行事を通して、これまで以上に大きく成長してくれることを期待したいと思います。

この二学期も生徒たちの大きな成長と活躍を願って、教職員一同熱い気持ちを持って指導にあたっていきたいと思います。

1 2019熱い夏

今年の夏も猛暑続きでしたが、部活動の中では、県大会、関東大会、全国大会など上位の大会に出場することが叶った部活動もありました。女子バレーボール部、女子ソフトテニス部は埼玉県大会に出場し苦戦を強いられる中、一生懸命に頑張る姿がそこにありました。また陸上競技部は、共通男子1500m、3000mの二種目で、関東大会(山梨県)、全国大会(大阪府)に出場し、その勇姿を見せてくれました。今年の夏は部活動を通して、生徒一人一人が輝き、熱く戦う姿を観ることができ、その活躍が大変うれしく、また誇らしく感じることができました。

部活動にしても、勉強にしても、直ぐには結果が出せないかも知れません。でも、地道に努力を重ねることで、きっと自分の成果が実感できる時が訪れます。皆さん一人一人が「夢を持ち、夢を膨らませ、夢を実現する」このことが叶うようにこの二学期をスタートさせてください。

『小さいことを重ねることが、とんでもないところに行くただ一つの道だ。自分の出来ることをとことんやってきたという意識があるかないか。それを実践できた自分がいること、継続できたこと、そこに誇りを持つべきだ。(イチロー)』

2 「学びの秋」と言われる季節・・・

ここ近年は猛暑が続く夏休みでしたが、学校行事や部活動が一番大きな存在となる二学期をいよいよ迎えます。これから段々と秋らしく過ごしやすくなっていく分、いわゆる学びの秋ともなっていくと思います。家庭学習も取り組みやすい時期になってきますし、ぜひ、この二学期を「実り多き、学びの秋」にもしてもらいたいと思います。

確かな学力を身につけるには、繰り返しの学習必要であるとよく言われます。私も学生の頃、何冊もの問題集に手を出すより、1冊の問題集を繰り返しやった方が力になると指導されたのを思い出します。何度も学びの上塗りをするのが大事だということです。

さて皆さんは、その上塗りをする時間をどう作っているでしょうか。実際のところ、スマートフォンやゲームに割く時間が結構多いのではないのでしょうか。一日の中での必要な学習時間量を一概に決めることはできません。いずれにせよ、学びの上塗りをする時間を確保されているかを考えてみてください。

3 自分自身の役割・・・

今学期は「体育祭」「合唱祭」など大きな行事が目白押しです。

その中では、行事に取り組むひたむきな姿を見るのを楽しみにしています。

さて、学校行事では、学級や集団のまとまりと協力が問われます。特に集団でやることは、難しいものです。どんなに一部の人だけが努力しても、当日を最高の状態で迎えることはできません。

そこで大切なのが、学級や集団でどのように自分が関わるかだと思います。

どのような役割でも喜んで、できることに一生懸命に取り組んだ時、達成感や感動を味わうことができると思います。

ぜひ、一人一人が学級や集団での役割を自覚し、ベストを尽くし最高のパフォーマンスをみせてくれることを期待しています。



志木中だより

10月号 令和元年 10月 1日

【学校教育目標】

- ・考える人
- ・思いやりのある人
- ・たくましい人

志木市立志木中学校 志木市柏町3丁目2番2号
 048(471)0143 FAX 048(474)6592
 URL <http://www.shikichu.ed.jp/>

校長 小林良昭

『 Autumn of learning 【学びの秋】 』

1. 誇らしい姿 (志木中体育祭)

9月14日(土)第73回志木中学校体育祭が開催されました。例年、夏休み明け間もないことから、練習時間が思うように確保できず、また天候に左右され、練習時間を全校生徒で工夫しながら迎えた当日、曇天でのスタートでしたが競技内容も天候をみながら、若干時間を空けることで天候も回復し、全ての競技内容を進めることが出来ました。

そんな中でも、「今、自分たちの出せる力を全力で発揮しよう!」とする意気込みを感じる素晴らしい生徒たちの姿を見ることができました。いつも感じることは、行事を通して一人一人が本当に大きく成長してくれるところが志木中生の素晴らしいところです。

生徒同士が団結して、学年、組、クラスのために一生懸命に取り組み、声を掛け合い、励まし合ってひとつの目標に向かい全力を尽くすことができました。その姿から多くの感動を与えてくれました。

体育祭終了直後の解散風景では、組をまとめてくれた3年生をたたえる姿が随所に見ることができました。

地域の皆様を始め、保護者の皆様には、体育祭の実施に際して、生徒に向け、熱い声援をお送りいただき、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。



候に左右され、練習時間を全校生徒で工夫しながら迎えた当日、曇天でのスタートでしたが競技内容も天候をみ



2. 深まる秋・文化の秋

実りの秋、スポーツの秋、文化の秋など色々形容される秋が本番となり「文化」という言葉を耳



くる季節でもあります。

日本の文化と言えば、日本古来の美学、美意識が思い浮びます。例えば、机一つ取り上げて、同じアジアで同じ机・椅子であったとしても、細工やデザインが、日本は繊細で端正な主張しないけれど、完成された落ち着きのある飽きのこない緻密な技術に裏打ちされたものが、作られているのを感じます。それは、焼き物でも、衣類の着物・帯、お菓子でも感じられるものです。また、庭でも家でも、海外の人からすると一見狭苦しい「町家」や「坪庭」が、落ち着いて、しい夏が不思議と涼しく、強い紫外線を、すだれや軒、茂る落葉樹でうまく楽しんだり、自然の風がエアコンより空気が美味しかったり、自然に準じた生活を感じることができます。



このように日本人にとって当たり前のようなことが、日本の「美」として世界中に称されています。つまり、日本の美学とは「感性」と「緻密な技術」によるものが多分にあることを感じさせられるものかと思えます。